

# 周年出荷と高品質安定生産による 市場評価の高いキク産地の育成

神栖市波崎地区は、年間平均気温 15℃前後の温暖な気候と砂質土壌のもと、年間を通して輪ギクを生産出荷する県内最大の施設輪ギク産地です。生産組織は、JA しおさい波崎菊部会、波崎園芸組合、高野園芸組合の3組織があり、約 20 名の生産者が約 6ha の施設で黄色の輪ギクを中心に栽培しています。鹿行農林事務所経営・普及部門では、生産者、JA しおさい、鹿島地帯特産指導所、市などの関係機関と連携し、産地をさらに発展させるため、新たな周年生産出荷者育成等による産地の拡大、適切な栽培管理の徹底による品質及び収量の向上、環境にやさしい農業の推進に取り組んでいます。

## ● 産地の拡大 ●

これまで5月～7月の出荷であった生産者に対し、出荷時期の拡大を推進しました。その結果、新たに2名が年末出荷用として低温開花性のある有望品種「鈴鹿の鏡」の栽培に取り組みました。また、JA しおさい波崎菊部会に対する茨城県花き銘柄産地指定や補助事業を活用した栽培施設整備支援などにより、産地の発展に向けた生産出荷体制を強化することができました。



高品質安定生産



整備が進む栽培施設と建設予定地

## ● 品質及び収量の向上 ●

花芽の分化状況に応じた後期栽培管理（再電照、追肥等）や、砂質土壌に適した施肥管理、効果的な病虫害防除など、適切な栽培管理の徹底を指導しました。その結果、生産者の栽培技術が向上し、品質の高い輪ギクを計画的に出荷できるようになってきました。

## ● 環境にやさしい農業の推進 ●

圃場のリン酸過剰集積を改善するため、土壌診断結果に基づいて施肥設計や堆肥施用方法の改善を指導しました。その結果、これまでの生産性を低下させることなく、大幅にリン酸の施用量を減らすことができました。また、高品質な輪ギクを安定して生産し続けるとともに、産地のPRにつなげるため、波崎園芸組合及び高野園芸組合に対し、エコファーマー認定を推進しています。



部会専用低リン酸肥料